



第4回 学校運営協議会だより

令和6年3月4日
横浜市立山王台小学校
校長 遠藤 清美

3月1日(金)に、今年度最後の第4回「学校運営協議会」が行われました。その際にいただいた意見などを紹介させていただきます。

1 令和5年度 学校運営協議会委員



2 第4回 学校運営協議会の主な内容

- ・6年生感謝の会参観
- ・中期学校経営方針振り返り
- ・今年度の学校評価について
- ・来年度の日課表について
- ・来年度の学校行事等について 等

(1) 中期学校経営方針振り返りについて

ア「確かな学力」について

- ・全体的に学習に対する意識は高いが、学習したことが定着するまでに時間を要する。

国語 ・他の教科に比べ、学習意欲が高い。

- ・読み聞かせや読書など、本にふれる環境が整っている。

社会 ・社会の仕組みや国土・歴史における社会生活について理解している。

- ・資料を読み取ったり、データを分析したりする技能を高めていきたい。

算数 ・学年が上がるにつれて、思考力の通過率が高くなっている。

- ・タブレットやドリルなどを活用し、反復練習をし、学習の定着を目指す。

理科 ・学年が上がると、考えを作り出すことが難しくなる。

- ・今後は、理科的な見方・考え方を意識した授業を進めていく。

今後に向けて

- ・基礎学力向上に向け、日々の授業はもちろん、家庭の協力も得ながら反復学習に力を入れる。
- ・知識・技能の確実な定着を図りつつ、思考力を高めていくことを意識した授業改善に取り組んでいく。
- ・共同的な学びの場づくり、個別最適な学びの充実を図る。
- ・一人ひとりのよさや可能性を積極的に認めていく。

イ「豊かな心」について

(ア) 自分の良さに気付くために

- ・横浜プログラムに年間を通じて取り組んだ。
- ・人権目標を振り返り、自分の行動を見直す機会を設けた。
- ・支援の方法を考えるため、生活アンケートを活用した。

(イ) 異学年交流

- ・今年度は、小グループ構成にし、関わりを深めた。
- ・来年度は、たてわり班だけでなく、ペア学年（1・6年、2・4年、3・5年）の取り組みも増やしていく。

(ウ) 自他を大切にできる子を育成するために

- ・必要に応じて正しい行動の仕方について全校で指導した。
- ・今後は、校外活動なども活用し、礼儀や正しい行動の仕方が身に付くようにしていく。

ウ「健やかな体」について

(ア) 基本的な生活習慣

- ・手洗い、うがいは身に付いている。
- ・ハンカチの携行を指導していく。

(イ) 食育

- ・毎月クラスごとに行うだけでなく、給食の時間にも日常的に行っている。
- ・いろいろな食材・料理に触れる経験が減っている。

(ウ) 体力の向上

- ・中休み、「長縄チャレンジ」に全校で取り組んだ。
- ・様々な運動の機会をとらえ、体力の向上を目指していく。

(2) 今年度の学校評価について

- ・どの項目も高評価である。中でも安全管理は大切に取組んだ成果である。児童のアンケートも同結果。
- ・いじめへの対応は「わからない」という回答が多くあったが、学校説明会や懇談会などで情報発信を続けている。今後もいじめについては未然防止に向け全職員で取り組んでいく。
- ・特別支援教育についてもその子に合った学びの場を保証できるように

していく。

(3) 委員の皆様からのご意見・ご質問

○挨拶はすぐには結果が出るものではない。教員が愛情をもって根気よく取り組んでほしい。

○知識と思考の違いは？

→国語では漢字の読み書き、語彙の習得などが知識。文章を読み、自分の考えをもつなどが思考になる。

○低学年の学力が低い？

→低学年では、まずは学ぶことの楽しさを実感できることを大切に授業の工夫をしている。

低学年は、テストに慣れていないために点数が取れないこともある。

取り出し支援、少人数学習、T、Tなど学びの場を工夫している。

○低学年は、学ぶ楽しさを実感できれば自分から学ぶようになるのではないか。

そのためにも、家庭との連携が大切。

→タブレットのよさを有効活用できるようにしていきたい。互いにアドバイスをしたり、自分で見直したりして、より良いものを目指している。

○小学校の学習は、とても大切。それぞれの教科の楽しさを実感できるようにすることが、小学校の役目ではないか。

○タブレットにより、学び方が変わった。ますます活用されていくだろう。

○教員が様々な場面で研修し授業力の向上に努めているが、地域や家庭に伝わりにくい現状がある。

○楽しく参観した。

○6年生のグループごとの発表について、教員はどのくらい関わっていたのか？

資料や発表の仕方などグループによって差があった。もう少し支援してもよかったのでは。

→低学年の頃から発表の機会を設けており、経験を重ねてきている。

○学校づくりアンケートで「わからない」を選択した人が、どの項目にもある程度いる。学校が、工夫して情報発信しているのなら、保護者も知ろうとする努力が必要だと思う。

→入学説明会でも発信している。

判断がつけられないのか、そのものが分からないのか、理由は様々ではないか。

○身近な子どもや孫の考えていることも分からなくなっている。

○11月の協議会で、多くの教職員と向き合えたことが良かった。次年度に、繋げていくことが大切。ヒルトップ制度は、気軽に地域の方が入れるようにしていけるとよい。ボランティア側も、構えすぎる必要はない。子どもたちは純粋であり、受け入れてくれる。

○OPTAの成り手も少なく、協力してもらえるよう発信の仕方を工夫している。映像などを使い、楽しさが伝わるようにしている。まずは、興味をもってもらえるように、発信の仕方を工夫してみてもどうか。

(4) 来年度の学校行事等について

- 開門時刻の変更については、PTAの責任者会などでご意見を求めてきた。
- 登校時刻を守るよう、家庭も協力していかなければならない。
- スクールサポーターから、門の外で大勢の子どもが待っているのは危ないのではないかという指摘を受けた。ガードレールをつけてもらえるよう、要望中である。
- ネパールに文房具を贈る活動は、長年行ってきたが、今年度で終了となった。

本年度2年目となった学校運営協議会、全4回を無事終えることができました。委員の皆様には様々なご意見をいただき、山王台小学校を皆で支え、子どもたちの成長を見守ってくださりありがとうございました。

地域が学校と連携・協働することは、子どもたちの教育環境の充実に資することにとどまらず、地域がその教育力を高め、持続可能な地域づくりにもつながるものであると考えられます。

これからも、保護者、地域の皆様の先頭に、協議会の委員の皆様には立っていただき、よりよい学校づくりを協働で進めていきたいと思っております。一年間本当にありがとうございました。

